

### 読売・大学進学懇談会



日高 義博 (写真提供=読売・大学進学懇談会事務局)

「真の大学力とは」  
 日高学長は、「大学は人間性形成の場である」として登壇した。日高学長は、「大学は人間性形成の場である」として登壇した。日高学長は、「大学は人間性形成の場である」として登壇した。

### パネルディスカッションで日高学長が語る

### 高校の先生方に「専修大学」紹介



あいつで本学の教育理念を語る日高義博学長  
 約500人の出席があった。

### 09年度入試トピックス

※詳細は「入学ガイド」で必ずご確認ください。  
 ① 併願受験料を免除  
 ② 筆記試験(英語・国語・選択科目の3教科)の成績と志望理由書(出願時に提出)で判定。この試験内では併願でできま

### 池本キャリアデザインセンター長が講演



池本キャリアデザインセンター長が講演  
 大学の就職指導担当者として「キャリア教育のねらいと大学の独自性」を講演した。

### 体験から生まれた「キャリア教育」

「キャリア教育」  
 大学が企業と連携し、学生が現場で学ぶ機会を増やしている。

### 全国就職指導ガイダンスで

全国就職指導ガイダンス  
 池本学長が「キャリア教育」の重要性を説いた。

### 古代から現代まで「旅」の姿楽しむ

「旅」の姿楽しむ  
 人文科学研究所で「旅」の歴史と現代の意義を講じた。

「旅」の姿楽しむ  
 人文科学研究所で「旅」の歴史と現代の意義を講じた。

### 個人・地域間の格差拡大と経済システムの転換

個人・地域間の格差拡大と経済システムの転換  
 経済学公共講座で格差社会の課題を議論した。

個人・地域間の格差拡大と経済システムの転換  
 経済学公共講座で格差社会の課題を議論した。

6月7日は高橋祐吉教授が「労働と格差・貧困」を講演した。同14日には唐鎌直義教授が「格差・貧困と福祉システム」を講演した。

### エクステンションセンター公開講座

エクステンションセンター公開講座  
 「The 寺子屋Ⅵ」新史料に歴史を学ぶ。

「The 寺子屋Ⅵ」新史料に歴史を学ぶ。6月7、14日の各土曜日に開かれ、毎回約40人以上の参加者があった。

言語・文化研究センター 公開講座  
 ●中世英文学研究の諸相  
 日時：6月29日(日) 13:00~17:00 会場：神田キャンパス7号館 731号教室  
 講師：内田誠一・九州大教授/渡邊浩司・中央大教授/小川浩・昭和女子大特任教授  
 ●ヨーロッパ近代美術の魅力Ⅱ  
 日時：7月5日(土) 13:30~16:30 会場：丸善・丸の内本店 日経セミナールーム  
 講師：池上公平・共立女子大教授/松下知紀・本学教授  
 (聴講無料) 社会知性開発研究センター ☎044-911-1347

第3回高校生のための経営学実践講座  
 夢をカタチにする挑戦  
 参加費無料(ランチにはハンバーガーを用意しています)  
 申込先 e-mail: mikokai@isc.senshu.ac.jp (高校生・参加者名・学年・性別・住所を明記) 専修大学経営学部「公開講座係」  
 ※グループでも参加できます。  
 【協力/日本マクドナルド(株)】

専修人の新しい本  
 非営利・協同システムの展開  
 本書は、市場主義の「暴走」がもたらす格差の拡大をまともに「サードセクター」と呼ばれる非営利・協同組織(協同組合・NPO・社会的企業等)が雇用や暮らし、コミュニティの質的な改善にどのような貢献をなしているかを、日本・イギリス・フランス・イタリアの事例を分析しながら考察した。共同研究の成果である。本書は同時に、非営利・協同システムをめぐる「理論」「実態」「政策」の検討を通じて、現行の社会・経済システムの変革と近未来の社会・経済システム像とを、サードセクターという視角から描くことの意味を強調している。日本経済評論社 本体3400円(税別) 共編者(うちやま・てつる) 日経経済学部教授、主な担当は社会運動論。

貨幣経済学の基礎  
 本書は、市場主義の「暴走」がもたらす格差の拡大をまともに「サードセクター」と呼ばれる非営利・協同組織(協同組合・NPO・社会的企業等)が雇用や暮らし、コミュニティの質的な改善にどのような貢献をなしているかを、日本・イギリス・フランス・イタリアの事例を分析しながら考察した。共同研究の成果である。本書は同時に、非営利・協同システムをめぐる「理論」「実態」「政策」の検討を通じて、現行の社会・経済システムの変革と近未来の社会・経済システム像とを、サードセクターという視角から描くことの意味を強調している。日本経済評論社 本体3400円(税別) 共編者(うちやま・てつる) 日経経済学部教授、主な担当は社会運動論。

僕らの憲法学  
 国家には国民を統治する権力が不可欠だ。でも、この公権力は、放つておけば危険なものであり、強大な特殊な力だ。僕らがそれをどう使いこなすのか、制限とコントロールの仕方を定め、僕らは公権力を無防備に信頼し、依存しきって